

### (5) 具体的手法と導入目標値

ここでは、今回のシミュレーションにおいて検討した削減手法とそれぞれの試算の根拠とした考え方やデータなどについて説明するとともに、その導入目標値と各目標年における CO<sub>2</sub>削減量、導入コストや CO<sub>2</sub>削減費用について整理します。

産業部門 1						
削減手段	省エネルギーの推進・BEMS の導入					
内容・算出根拠	ESCO・BEMS の導入など、省エネルギー対策を実施し、1工場あたり CO <sub>2</sub> 排出量を平均 25%削減する。					
削減量単位	25%/工場					
導入コスト	機器導入によらない省エネルギー、ESCO による導入であれば導入コストはかからない。条件によって異なるので、事前精査が必要					
費用削減額	条件によって異なる。					
CO <sub>2</sub> 削減コスト	削減コストがマイナスの場合のみを対象とする。					
対象	工場					
目標	2010	全工場の 30%	2020	全工場の 80%	2030	全工場の 100%
CO <sub>2</sub> 削減量		1,889 t-CO <sub>2</sub>		5,037 t-CO <sub>2</sub>		6,297 t-CO <sub>2</sub>

産業部門 2						
削減手段	重油ボイラーの天然ガス化					
内容・算出根拠	製造業で使われている重油を天然ガスに置き換える。					
削減量単位	重油と天然ガスの発熱量あたり CO <sub>2</sub> 排出量の差: 0.0203 t-CO <sub>2</sub> /MJ					
導入コスト	条件によって異なる。					
費用削減額	条件によって異なる。					
CO <sub>2</sub> 削減コスト	条件によって異なる。					
対象	製造業(工場)					
目標	2010	全体の 30%	2020	全事業所の 100%	2030	全事業所の 100%
CO <sub>2</sub> 削減量		562 t-CO <sub>2</sub>		1,873 t-CO <sub>2</sub>		1,873 t-CO <sub>2</sub>